

下水道機構の『新技術情報』 第111号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

早いもので10月になりました。10月は「神無月」と呼びますね。出雲の出雲大社に全国の神様が集まって一年の事を話し合うために、出雲以外には神様が居なくなる月の意味と言われていて、出雲では「神在月」というそうです。神様は、今年はどうなことを話し合っているのでしょうか。

それでは、機構メールマガジン『新技術情報』第111号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・下水道津波対策に関する津波シミュレーションによるデータ整理等業務について当機構のHPで公募しております。
- ・新技術現場研修会「砂町水再生センター地域冷暖房事業及び東京都下水道技術実習センター」を開催！
- ・9/30付および10/1付で人事異動がありました

■機構の動き

- ・今週は、10/8(火)@香川県坂出市・丸亀市第2審査証明委員会を、10/10(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・皇居ランニング(研究第二部 0.Iさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、10/1付で機構へ着任した職員より自己紹介をお届けします。

■国からの情報

- ・10月4日付、下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

。○。○。

- 下水道津波対策に関する津波シミュレーションによるデータ整理等業務について当

機構のHPで公募しております。

募集期限：平成25年10月11日17:00まで

担当：研究第一部 西村（03-5228-6597）

※詳しくはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/archives/bid/%e3%80%8c%e4%b8%8b%e6%b0%b4%e9%81%93%e6%b4%a5%e6%b3%a2%e5%af%be%e7%ad%96%e3%81%ab%e9%96%a2%e3%81%99%e3%82%8b%e6%b4%a5%e6%b3%a2%e3%82%b7%e3%83%9f%e3%83%a5%e3%83%ac%e3%83%bc%e3%82%b7%e3%83%a7%e3%83%b3>

●新技術現場研修会「砂町水再生センター地域冷暖房事業及び東京都下水道技術実習センター」を開催！

11月15日(金)13:10～16:55に東京都砂町水再生センター内にて新技術現場研修会を開催します。

江東区新砂三丁目地区では、東京都下水道局砂町水再生センターの処理水や污泥焼却炉、炭化炉の廃熱を給湯や冷暖房の熱源として、江東高齢者医療センター等の都の施設に供給・活用しています。これらの下水熱利用に加え太陽熱を利用して廃熱投入型高効率吸収式ヒートポンプと組み合わせた実証プラントも視察し、熱利用に関しての新技術の知見を深めることを目的としています。

また、同砂町水再生センター敷地内に、自治体における人材育成と技術の継承という課題へ対応するため、東京都下水道局の実習施設「下水道技術実習センター」を設け10月に開講したため、実習センターを見学し、東京都の取組事例として知見を深めることを目的としています。

なお、本研修会は東京都下水道局、東京都下水道サービス株式会社及び東京下水道エネルギー株式会社のご協力を得て開催するものです。

対象は、出捐・賛助企業及び公共団体の下水道技術者の方を対象に募集しています。皆様方、多数のご参加をお待ちしております。なお、参加費は無料です。

※ご参加を希望される方は、下水道機構のホームページから直接お申し込みください。

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-info>

●9/30付および10/1付で人事異動がありました

9/30付 退職 小山 幹治（事務局長）
転出 日本上下水道設計(株)坪川貴芳（研究第一部 研究員）

10/1付 採用 事務局長 古瀬 晶文
転入 研究第一部 研究員 芹沢佐和子（日本上下水道設計(株)）

_____。○○。

機構の動き（機構の行事予定です）

○○。_____

●平成25年10月8日(火)

行事：平成 25 年度 第 2-1 回 第 2 審査証明委員会
場所：香川県坂出市・丸亀市
議案：25 年度新規申請案件 1 件の現場試験立会・審議

●平成 25 年 10 月 10 日(木)17:00~18:00

行 事：第 319 回技術サロン
場 所：下水道機構 8 階会議室
講 師：防衛大学校システム工学群建設環境工学科 助教 嶋原良典 氏
テーマ：津波数値シミュレーションの現状について
※お申込みはこちら→
<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

◎平成 25 年 10 月 18 日(金)13:20~16:40 【東京会場（当機構会議室（江戸川橋）】

平成 25 年 10 月 25 日(金)13:20~16:40 【大阪会場（大阪科学技術センター）】

行 事：技術マニュアル活用講習会

対 象マニュアル：

- (1) 津波シミュレーションモデル利活用マニュアル
- (2) シールド切替型推進工法技術資料
- (3) 鋼板製消化タンク技術マニュアル
- (4) 回転ドラム濃縮技術マニュアル
- (5) エネルギー回収・汚泥減量化技術（レセルシステム）の導入マニュアル

※詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/manual-seminar/manual-program>

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●皇居ランニング（研究第二部 0.I さんからの投稿です）

私は下水道機構の研究第 2 部に所属しています。2 部では幾つかの不定期イベントがありますが、代表的なイベントの 1 つに、体力および精神力向上を目的として、皇居でのランニングがあります。

皇居周辺は、一般的なルートを走ると、1 周 5 km で適度なアップダウンがあり、信号待ちもないので、比較的走りやすいコースです。また、ビル街の夜景や遠くに見える東京駅など、都心らしい風景を眺めながら走れる点も人気のポイントでしょう。「走る楽しさは分からないけど、皇居ランニングは楽しい」という研究員もいます。

ただ、人気のあるコースが故に多い日には数千人のランナーが集まり、いろいろな問題が起きてしまっているのも事実です。

例えば、道幅一杯に並んで歩きながら、おしゃべりを楽しんでいるランナー(?)をちらほら見かけます。場所によっては非常に狭い歩道を走るので、他の人達の妨げにならない様にしてもらいたいものです。また、歩道を走るので、当然、歩行者もいます。歩行者が安心して歩けるように、気を付けながら走る必要があります。

すが、なかなかうまくいかないことも……。さて、下半期がスタート、「新下水道ビジョン2100（仮称）」策定に向けた議論もいよいよスタートです。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○「新下水道ビジョン2100（仮称）」策定に向け下水道政策研究委員会始動！

【下水道企画課】

○「下水道施設の老朽化対策に関する検討委員会」最終提言のとりまとめ

【下水道事業課・日本下水道協会】

○第6回いい川・いい川づくりワークショップの開催と募集について～締切間近！！

～【流域管理官】

●電通 大屋洋子氏によるGKPわいがやトーク開催！

『食』を通して見た、いまどき生活者インサイト【GKP】

●第25回環境システム計測制御学会（EICA）研究発表会のご案内【EICA】

●10月の技術サロンの開催について【下水道機構】

=====

○「新下水道ビジョン2100（仮称）」策定に向け下水道政策研究委員会始動！

【下水道企画課】

国土交通省は、平成17年9月に策定した「下水道ビジョン2100」について、策定時からの社会経済情勢の変化や施策の推進状況等を踏まえ、

その成熟化を図り、管理運営時代の新たな下水道の政策体系として「新下水道ビジョン2100（仮称）」を策定します。公益社団法人日本下水道協会と共同で「下水道政策研究委員会」を設置、今年10月中旬に第1回委員会を開催し、平成26年夏頃を目処に「新下水道ビジョン2100（仮称）」をとりまとめる予定です。検討会の開催日程等は国土交通省HPで改めてお知らせいたします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000217.html

○「下水道施設の老朽化対策に関する検討委員会」最終提言のとりまとめ

【下水道事業課・日本下水道協会】

本委員会では、これまで「下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）」を策定するとともに、第1次提言として、下水道管路施設を中心に、点検・調査の実施にあたって緊急的・重点的に取り組むべき事項や留意事項についてとりまとめました（平成25年6月）。

その後さらに、処理場・ポンプ場施設を含む下水道施設の計画的かつ効率的な老朽化対策を行うために講ずべき施策等について議論を重ね、この度、最終提言をとりまとめましたので、お知らせします。下水道施設を適切に維持管理し、新しい時代のニーズに対応しながら継続的に更新あるいは機能向上していくため、組織体制や人材（ヒト）、施設（モノ）、資金（カネ）という資産を相互に関連付け、戦略的にマネジメントすることが重要であるとの基本的な考え方のもと、本提言では、施設資産の効率的な点検・調査から長寿命化対策を含む計画的な改築までを中心に、主に施設管理面に焦点を当て、運営体制面、経営面にも留意した上で、今後、重点的に取り組むべき具体的施策について提言したものです。

<http://www.jswa.jp/proposal>

○第6回いい川・いい川づくりワークショップの開催と募集について～締切間近！！

～【流域管理官】

7月7日「川の日」の記念行事の一つとして全国の川や水環境に関する市民、行政に呼びかけスタートした「川の日」ワークショップは、第10回記念大会を経て「いい川・いい川づくりワークショップ」として新たに歩み出し、通算16回目の開催となりました。

この大会は、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていこうと、各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけを行い、応募をおこなっていただき、それを公開選考会という形で交流を行うものです。過去15回の大会で応募数は932件となっています。

このたび第6回目のワークショップが11月2、3日に国立オリンピックセンター記念青少年総合センターで開催されます。下水道分野でも過去に水辺形成や環境学習などのテーマで応募がなされておりますので皆様の積極的な応募、参加をお願いしたく存じます。なお、いい川・いい川づくり応募締切は10月7日と迫っておりますのでご注意ください。

ワークショップ、応募など詳細は下記のHPをご覧くださいと存じます。

<http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

●電通 大屋洋子氏によるGKPわいがやトーク開催！

『食』を通して見た、いまどき生活者インサイト【GKP】

10月のGKP（下水道広報プラットフォーム）わいがやトーク（一木会）は、10月24日（木）、電通総研研究主幹の大屋洋子氏をお迎えします。「食」にまつわる事象やトレンド事例、全国10代～70代男女に実施した「電通食生活ラボ調査」のデータから、いまの生活者の特徴を5つのキーワードにまとめて解説いただく予定です。また、9月に実施したばかりの調査から、いまの日本の生活者にとっての「下水道」×「食」の印象についてもご紹介いただくほか、同氏が著して話題となった書籍「いま20代女性はなぜ40代男性に惹かれるのか」をベースに、いまの生活者の恋愛観など、下水道を離れてちょっと気になるテーマについてもお話しいただく予定です。大家さんは、10月から「新下水道ビジョン2100（仮称）」の策定のために開催される下水道政策研究委員会の委員にも就任されました。是非ご参加ください。

（GKPわいがやトーク 予定）

・日時：10月24日（木）

講演（16：30～17：20）

講師：大屋洋子氏（電通総研研究主幹）

演題：『食』を通して見た、いまどき生活者インサイト

質疑応答（17：20～17：30）、懇親会（17：40～18：40）

・会場：日本下水道協会5階会議室

<http://www.gk-p.jp/information.html>

●第25回環境システム計測制御学会（EICA）研究発表会のご案内【EICA】

第25回環境システム計測制御学会研究発表会を下記のとおり開催しますのでお知らせ

せします。注目は、一般論文発表の最後に報告する、昨年10月にハリケーン・サンディで被災した、米国ニュージャージー州の4つの下水処理場の被害・復旧緊急報告。これは、EICAが昨年度に「EICA 東日本大震災調査研究報告書」をまとめた調査活動の延長として、今年9月16日から9月20日まで米国東部ニュージャージー州に調査団を派遣して現地調査、関係者ヒアリングをしたものです。正式の報告書は、後日発行する予定です。

・開催日時：(研究発表) 10月31日(木) 11時～

(見学会) 11月1日(金) 早朝～

・開催場所：仙台市東北大学片平キャンパス内

・内容：

1) 特別講演「東日本大震災と仙台市の下水道」

仙台市建設局下水道経営部下水道計画課主査 案附太郎氏

2) 特別講演「木の力を輝かせる」 丸林木材(株)代表取締役 小野寺邦夫氏

3) 基調講演「災害廃棄物処理の新しいコンセプトとその効果」

東北大学大学院環境科学研究科 教授 吉岡敏明氏

4) 論文発表

5) 緊急報告(12:20頃～)「米国ハリケーン・サンディ下水処理場被害復旧調査」の中間報告

6) 見学会 蕪栗沼見学(日の出とともに渡り鳥の飛び立ちをご覧ください)、仙台市南蒲生浄化センター、宮城県石巻ブロック災害廃棄物処理施設。

見学会は、別途申し込みが必要です。

・申し込み EICA ホームページからできます。どなたでも参加できます。

<http://www.eica.jp/>

●10月の技術サロンの開催について【下水道機構】

当機構では、地方公共団体、民間等の皆様を対象に下水道に係わる最近の話題や新技術に関する交流の場として、毎月第2木曜日、「技術サロン」を開催しています。

第319回となる今回の技術サロンは、10月10日(木) 17:00～18:00、当機構(東京・江戸川橋)会議室にて開催します。ゲストは防衛大学校システム工学群建設環境工学科 助教 嶋原良典氏をお迎えして「津波数値シミュレーションの現状」をテーマに開催します。申し込みは、当機構ホームページから Web 申し込みをお願いします。

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■研究集会「再生可能エネルギーの活用現場をめぐる」の開催について

【NP021 世紀水倶楽部】

(11月21日開催)

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

→9月27日掲載

■「東京湾再生官民連携フォーラム」の会員募集について【流域管理官】

http://www.wave.or.jp/tbsaisei/2013/tbsaisei_20_0809.pdf

→9月13日掲載

■「下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会」の開催について

【土木研究所】

(10月16日開催)

<http://www.pwri.go.jp/jpn/news/2013/1016/session.html>

→9月13日掲載

■「第3回災害時トイレ衛生管理講習会」の開催について【NPO日本トイレ研究所】

(10月26日・27日開催)

<http://www.toilet.or.jp/study/meeting/summary/131026.html>

→9月13日掲載

=====

【参考情報】

◆雨水貯留槽、助成わずか6件 高岡市の浸水対策<9/27 北国新聞>

<http://www.hokkoku.co.jp/subpage/T20130927204.htm>

◆下水道普及促進ポスターコンクール:寺本さん最優秀 四日市 /三重<9/27 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/feature/news/20130927dd1k24040309000c.html>

◆平成24年度末の汚水処理施設の処理人口1億1,138万人に、汚水処理人口普及率88.1%<9/27 EIC ネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=30989&oversea=>

◆福岡市、フィジーに水道技術支援 3年間職員を派遣<9/30 日本経済新聞>

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZ060413400Q3A930C1LX0000/>

◆熊野さん(太田小)に環境大臣賞/下水道コン書道部門<10/2 四国新聞>

http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/education/20131002000175

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
